

◇ (表1) 受講資格

1級又は単一等級の技能検定合格者、又は免許職種に関して次の学歴又は訓練歴及び実務経験を有する方。なお、実務経験は学校卒業・職業訓練修了後の年数となります。(在学中、訓練中の期間は実務経験年数に含まれません。)

免許職種に関する学歴・訓練歴		実務経験年数
学校教育	大学の卒業生	2年以上
	短期大学又は高等専門学校の卒業生	4年以上
	高等学校の卒業生	7年以上
職業訓練	応用課程・特定応用課程の高度職業訓練の修了者(技能照査合格者)	1年以上
	専門課程の高度職業訓練の修了者(技能照査合格者)	3年以上
	専門課程・特定専門課程の高度職業訓練の修了者	4年以上
	普通課程の普通職業訓練の修了者(技能照査合格者)	6年以上
	普通課程の普通職業訓練の修了者	7年以上
	短期課程の普通職業訓練(700時間以上)の修了者	10年以上

※上記以外の場合及び詳細については当協会へお問い合わせ下さい。

◇ (表2) 職業訓練指導員免許職種一覧(123職種)

園芸科	造園科	森林環境保全科	鉄鋼科	鑄造科
鍛造科	熱処理科	塑性加工科	溶接科	構造物鉄工科
金属表面処理科	機械科	電子科	電気科	コンピュータ制御科
発電電科	送配電科	電気工事科	自動車製造科	自動車整備科
自動車車体整備科	航空機製造科	航空機整備科	鉄道車両科	造船科
時計科	光学ガラス科	光学機器科	計測機器科	理化学機器科
製材機械科	内燃機関科	建設機械科	農業機械科	縫製機械科
織布科	織機調整科	染色科	ニット科	洋裁科
洋服科	縫製科	和裁科	寝具科	帆布製品科
木型科	木工科	工業包装科	紙器科	製版・印刷科
製本科	プラスチック製品科	レザー加工科	ガラス科	ほうろう製品科
陶磁器科	石材科	麺科	パン・菓子科	食肉科
水産物加工科	発酵科	建築科	枠組壁建築科	とび科
建設科	プレハブ建築科	屋根科	スレート科	建築板金科
防水科	サッシ・ガラス施工科	畳科	インテリア科	床仕上げ科
表具科	左官・タイル科	築炉科	ブロック建築科	熱絶縁科
冷凍空調機器科	配管科	住宅設備機器科	さく井科	土木科
測量科	建築物設備管理科	ボイラー科	クレーン科	建設機械運転科
港湾荷役科	化学分析科	公害検査科	木材工芸科	竹工芸科
漆器科	貴金属・宝石科	印章彫刻科	塗装科	広告美術科
デザイン科	義肢装具科	電気通信科	電話交換科	事務科
貿易事務科	流通ビジネス科	写真科	介護サービス科	理容科
美容科	ホテル・旅館・レストラン科	観光ビジネス科	日本料理科	中国料理科
西洋料理科	臨床検査科	フラワー装飾科	メカトロニクス科	情報処理科
フォークリフト科	建築物衛生管理科	福祉工学科		

◇ (表3) 講習内容

講習科目	時間数	内 容
1 職業訓練原理	4	職業訓練の沿革、意義、目的、職業訓練の担当者等
2 教科指導法	16	訓練実施計画、指導の進め方、教材の活用等
3 労働安全衛生	3	安全管理、安全の確保、衛生管理、衛生と作業環境等
4 訓練生の心理	7	訓練生の選抜、訓練生の特質の理解、技能の習得等
5 生活指導	6	生活指導の分野、生活指導の方法等
6 関係法規	4	職業能力開発促進法、職業安定関係法、労働基準関係法等
7 事例研究	6	作業分解、指導案、訓練実施計画、指導記録等の事例研究
8 確認テスト	2	
計	48	1日8時間の6日間

〔注意〕 この講習会の補習講義はありませんので、欠席・遅刻・早退をしないで下さい。
 受講時間数を満たしていない方は、確認テストを受けることはできません。
 講習修了証書は、最終日の確認テストに合格された方のみ交付いたします。